

6回路電力総合積算計

近年、各需要家の使用電力量は増大の一途をたどっており、電力の供給信頼度も高いものが要求されつつあります。また、大都市においては土地価格が高いなどの理由により、中高層ビルが密集して建てられ、それに伴って単位面積あたりの需要電力は非常に大きくなっています。このように高い負荷密度の地域に、高い供給信頼度をもって電力を供給する方式として、最近クローズアップされ、新宿副都心に採用されることになったのが、スポットネットワーク方式です。

この方式において、1スポットの電力測定は、ネットワーク母線から引きだされるフィーダ（最高6フィーダ）のおおのに使用される電力を測定し、この合成により行なわれます。

概要

本装置の構成は

- (1) 発信装置付積算電力計（または積算無効電力計）からのパルスを受信し現字する再現計量器（2個～4個）
- (2) 再現計量器上の数値を加算し現字する総合計量器
- (3) 総合計量値に比例して信号を発するパルス発信装置によります。

電力総合積算計として当社で製作していますのは

総合計量器 1個

再現計量器 2個、3個または4個

の3種類があります。

6回路の電力量を総合するためには

SUM 1-3K：再現計量器3個、総合計量器1個

にて、3フィーダの積算電力計からの電力量を総合し、この総合値に比例して発生するパルスと、残り3フィーダの電力量計からのパルスを

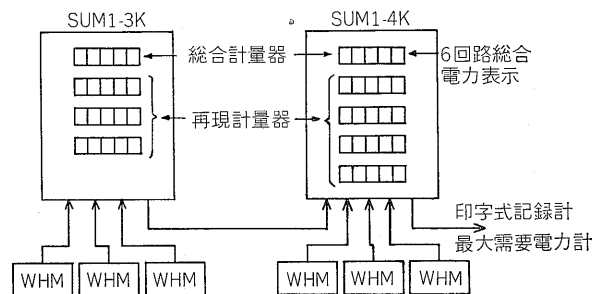
SUM 1-4K：再現計量器4個、総合計量器1個

に受信することにより、総合計量器上には、6回路総合電力量が計量されます。

6回路総合の電力量を印字したい場合、または最大需要電力量を測定したい場合は、SUM 1-4Kの総合値に比例して発せられるパルスを、印字式記録計あるいはパルス作動最大需要電力計に受信することにより、その目的が達成されます。この接

第1表 2～6回路電力総合積算計

回路数	2	3	4	5	6
形式	使用台数				
SUM 1-2K	1			1	
SUM 1-3K		1			1
SUM 1-4K			1	1	1



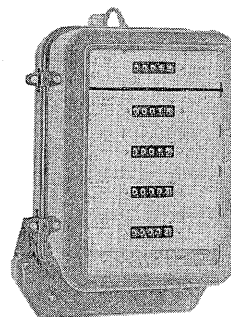
第1図 6回路電力総合積算計

続図を第1図に示します。

上記は6回路総合の場合ですが、2～6回路に対し、第1表のごとき組合せにより、電力量の総合値を計量し、印字したり最大需要電力量を求めることができます。

仕様

形式		SUM 1-2K	SUM 1-3K	SUM 1-4K
計 量 器	再現計量器	2 個	3 個	4 個
	総合計量器	1 個	1 個	1 個
受 信 用 継 電 器		2 個	3 個	4 個
補 助 電 動 機		3 個	4 個	5 個
定 格 電 圧		AC 100/110V, 50% 60%		
受 信 パ ル ス 最 小 間 隔		1.5 sec		
受 信 用 継 電 器 回 路 (受信継電器 1個当り)	皮相電力	3.3VA		
	電力損失	3.1W		
	励磁電流	30mA		
補 助 電 動 機 回 路 (補助電動機 1個当り)	皮相電力	4.7VA		
	電力損失	2.4W		
	励磁電流	42.5mA		
絶 縁 抵 抗	DC 500V メガーにて電気回路相互間、および電気回路とベース間 10MΩ 以上			
絶 縁 耐 力	電気回路とベース間に商用周波 (50% または 60%) の交流電圧 2,000V 1分間			



第2図 外 観



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。